

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 1 区分
 【発行日】平成25年1月17日 (2013.1.17)

【公開番号】特開2012-40024(P2012-40024A)
 【公開日】平成24年3月1日 (2012.3.1)
 【年通号数】公開・登録公報2012-009
 【出願番号】特願2011-258048(P2011-258048)
 【国際特許分類】

C 1 2 N 15/09 (2006.01)
 C 0 7 K 19/00 (2006.01)
 C 0 7 K 16/00 (2006.01)
 A 6 1 K 39/395 (2006.01)
 A 6 1 P 43/00 (2006.01)

【 F I 】

C 1 2 N 15/00 A
 C 0 7 K 19/00 Z N A
 C 0 7 K 16/00
 A 6 1 K 39/395 N
 A 6 1 P 43/00 1 1 1

【手続補正書】
 【提出日】平成24年11月16日 (2012.11.16)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

形態 (A) - M - (A ') の 2 つの融合ポリペプチドから形成されるダイマーを含む T i e - 1 レセプターを活性化するための組成物であって、ここで、成分 A および成分 A ' は各々が、T i e - 1 を結合し得る単鎖可変フラグメント (s c F v) 抗体であり、そして、成分 M は、I g G の F c ドメインを含むマルチマー化成分であり、該ダイマーは、4 つより多くの T i e - 1 レセプターに結合し、クラスター形成し得る、組成物。

【請求項 2】
A および A ' が異なる s c F v である、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 3】
M がヒト I g G 1 の F c ドメインを含む、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 4】
前記 2 つの融合ポリペプチドの各々が、s c F v₂₋₁G₃-F c - s c F v₁₋₁F₁₋₁ (配列番号 51) を含む、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 5】
前記 2 つの融合ポリペプチドの各々が、s c F v₁₋₁F₁₋₁-F c - s c F v₁₋₁F₁₋₁ (配列番号 50) を含む、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 6】
形態 (A) - M - (A ') の 2 つの融合ポリペプチドから形成されるダイマーを含む T i e - 1 レセプターを活性化するための組成物であって、ここで、成分 A は、T i e - 1 を結合し得る単鎖可変フラグメント (s c F v) 抗体であり、成分 M は、I g G の F c ドメインを含むマルチマー化成分であり、そして、成分 A ' は、A n g 1 または A n g 2 の

フィブリノゲンドメインであり、該ダイマーは、4つより多くのT i e - 1レセプターに結合し、クラスター形成し得る、組成物。

【請求項7】

成分A'がA n g 1のフィブリノゲンドメインである、請求項6に記載の組成物。

【請求項8】

成分A'がA n g 2のフィブリノゲンドメインである、請求項6に記載の組成物。

【請求項9】

MがヒトI g G 1のF cドメインを含む、請求項6に記載の組成物。

【請求項10】

前記2つの融合ポリペプチドの各々が、s c F v₁₋₁ F₁₁ - F c - F D 1 (配列番号52)を含む、請求項6に記載の組成物。

【請求項11】

前記2つの融合ポリペプチドの各々が、s c F v₁₋₁ F₁₁ - F c - F D 2 (配列番号53)を含む、請求項6に記載の組成物。

【請求項12】

形態(A) - M - (A')の2つの融合ポリペプチドから形成されるダイマーを含むT i e - 2レセプターを活性化するための組成物であって、ここで、成分Aおよび成分A'は各々が、T i e - 2を結合し得る単鎖可変フラグメント(s c F v)抗体であり、そして、成分Mは、I g GのF cドメインを含むマルチマー化成分であり、該ダイマーは、4つより多くのT i e - 2レセプターに結合し、クラスター形成し得る、組成物。

【請求項13】

AおよびA'が異なるs c F vである、請求項12に記載の組成物。

【請求項14】

MがヒトI g G 1のF cドメインを含む、請求項12に記載の組成物。

【請求項15】

前記ダイマーが、各々がs c F v_{A 1 2 A} - F c - s c F v_{B 2} (配列番号28)を含む2つの融合ポリペプチドから形成される、請求項12に記載の組成物。

【請求項16】

前記ダイマーが、各々がs c F v_{B 2} - F c - s c F v_{B 2} (配列番号29)を含む2つの融合ポリペプチドから形成される、請求項12に記載の組成物。

【請求項17】

形態(A) - M - (A')の2つの融合ポリペプチドから形成されるダイマーを含むT i e - 2レセプターを活性化するための組成物であって、ここで、成分Aは、T i e - 2を結合し得る単鎖可変フラグメント(s c F v)抗体であり、成分Mは、I g GのF cドメインを含むマルチマー化成分であり、そして、成分A'は、A n g 1またはA n g 2のフィブリノゲンドメインであり、該ダイマーは、4つより多くのT i e - 2レセプターに結合し、クラスター形成し得る、組成物。

【請求項18】

成分A'がA n g 1のフィブリノゲンドメインである、請求項17に記載の組成物。

【請求項19】

成分A'がA n g 2のフィブリノゲンドメインである、請求項17に記載の組成物。

【請求項20】

MがヒトI g G 1のF cドメインを含む、請求項17に記載の組成物。

【請求項21】

前記2つの融合ポリペプチドの各々が、s c F v_{B 2} - F c - F D 1 (配列番号30)を含む、請求項17に記載の組成物。

【請求項22】

前記2つの融合ポリペプチドの各々が、s c F v_{B 2} - F c - F D 2 (配列番号31)を含む、請求項17に記載の組成物。